

◆とちぎ米通信【7月号】◆

とちぎのおこめ

I. 栃木米販売促進情報

1. キャンペーン情報

(1) エーコープ関東の店舗で販促活動実施！

6月11日(土)に緑竹山店で「お米のすくい取りチャレンジ!」、6月24日(金)～6月26日(日)14店舗で「試食販売」を実施しました!

「田植えツアー」や「とちぎのお米 う米♪う米♪キャンペーン2016」等を実施しているエーコープ関東の店舗ということもあり、来店者のほとんどの方が、栃木県産米を知っていると同時に購入もしていただいていた。

また、当日、店舗販売担当者(店長等)のご配慮により、特別販売スペースも別途増設していただき、栃木県産米の販売・PRに多くのご協力をいただきました!



※上記以外にも、食品館あおば・阪急オアシス等で販促活動を実施しています

(2) とちぎのお米 う米♪う米♪キャンペーン2016終了!

6月30日(木)をもちまして、「3銘柄特A獲得記念キャンペーン」が終了しました。新規店舗での取組拡大や日生協等での早期スタートにより、応募総数は40,000通を超える見込みとなっております(前年比200%超)。たくさんのご応募ありがとうございました!



2. 27年産米販売情勢

(1) 27年産米契約状況について

6月末時点での27年産米契約数量は101,887トン（契約率99%、5月末から変動無し）となっています。

一方、主食うるち米の実販売（出庫）については、6月単月で6,205トンが販売になり、6月末累計で39,502トンに積み上がりました。5月までの状況と比べると、単月の数量は伸びましたが、販売状況が大きく改善されてはなりません（出荷進捗39%、6月末の全国平均63%）。7月、8月は一年を通して精米の消費量が落ち込む時期です。また、28年産出回りまでの在庫調整に目途が付いた卸が多く、今後、大きな動きは無いと思われます。厳しい販売状況ですが、進捗が遅い卸を中心に早期引取の商談を強化していきます。

7月の気温見通しは、「平年並み～高い」で推移すると予想され、例年同様にお米の保管には厳しい季節となります。保管管理には、十分に注意を払っていただきますようお願いいたします。

契約数量

単位：トン

銘柄	集荷数量	契約数量	契約率	契約残数
コシヒカリ	87,104	86,277	99%	826
あさひの夢	6,224	6,202	100%	23
なすひかり	4,957	4,941	100%	16
とちぎの星	3,121	3,113	100%	8
その他	480	480	100%	0
合計	101,887	101,013	99%	874

※契約数量には収穫前契約を含みます。

(2) 28年産米の推進について

6月は、28年産米の収穫前契約について、第2回目の条件提示が行われました。今回、提示した県本部は、秋田・山形・福島・石川の4県です（栃木は5月提示済み）。当初予定の9県から減少していますが、残り5県は、7月に延期する模様です。今回の提示についても、各卸とも満額申込を検討しているようです。

本県では、6月に集計した出荷契約数量を基に、提示内容の再検討を行いました。内容を精査した結果、5月提示からの数量上積み等の変更はありませんでした。今後は、年間販売計画を再検討し、各卸との意見交換を実施していきます。また、複数年契約に対しても、目標の10,000トンを達成できるよう個別推進を行っていきます。

7月には第3回目の条件提示が予定されています。栃木では、なすひかり・とちぎの星・あさひの夢を提示する予定です。主要卸の要望を整理し、条件の良い販売に繋がるよう推進を行っていきます。

(3) 実需者への27年産米納入について

外食業態から卸に対して、27年産の納入期間を引き伸ばす要望が出ているようです。28年産の価格が上昇することを見通した対応と考えられます。引き伸ばす期間は、年内までではなく、来年3～4月までと長期の内容になっており、28年産の使用開始時期に影響が出てくると想定されます。また、中食業態からも同じような要望が出てくる可能性がある為、各卸では、納入延長について各業態との調整が急務となっています。

(あとがき) 先月同様になりますが、28年産米について、各卸から数量の上積み要請が再度届いています。改めて各銘柄とも、集荷数量の積み上げをよろしく願います！

※ 問い合わせ先 ※

◆内容に関するご意見・ご質問・ご感想も是非お寄せください。

JA全農とちぎ 米麦部 米穀課

電話:028-616-8820 FAX:028-616-8828

